

総務文教都市事例

■伊達市定住・移住対策

伊達市の定住・移住対策は、全国的に成功例として注目されています。その基本理念は、定住・移住を目的にしたものではなく、高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めることを柱に、高齢者のニーズに応える新たな産業の創設と、働く人達の雇用を促進し、豊かで快適なまちを目指すことにあります。その原動力は歴史・文化・自然環境・食文化・交通アクセスなどを最大限に生かし、行政と地元企業、市民の協力で伊達市の未来を築きあげることにあります。

「任んでみたいまちづくり課」を設置し各事業へ積極的に関わることにより、多くの移住者に安心感を与え、有形無形の付加価値を生み出しています。

■函館市における独自の生涯学習単位認証システム

「HAKODATEまなびつと広場」は市民一人ひとりが自

己の学習目標を定め、選択的に活動が行えるよう市内で提供される学習機会を整理し情報を提供、個人の学習活動に対し単位認定という形で評価し、学習意欲の向上促進を目的とした函館市独自の生涯学習単位認証システムです。



視察地にて

内容は、一般教養・文化・趣味やスポーツなど民間や市立病院・大学が行う多種多様な講座を「学びの情報」として提供しています。

委員会では本市においても今後、単位制度の導入を検討するほか市の出前講座・地域行事・市長との懇談会などに取り組むことで、地域の活性化を見据えた生涯学習のあり方を調査研究すべきものと考えます。

保健福祉委員会

■児童福祉について

委員会では、児童福祉、特に要保護児童対策と言われる児童虐待防止対策と子ども通園センターの事業執行の状況など、現地視察や都市事例調査を実施し調査を進めてきました。

本市においても児童福祉法の改正で要保護児童対策に関する相談や通告先が市町村とする事が明確にされたのを受け、子ども未来課が事務を所管、関係機関と連携し「富良野市要保護児童対策地域協議会」を設置し様々な事例に対応をしている。市内においても年々増加の傾向は否めなく、通報対応は24時間行っている。

子ども通園センターは、幾多の法改正の中で療育事業が進められ、現在は、南富良野町、占冠村からの通園者も含めて事業が行なわれている。

センターでは、相談や申請、個々の課題にあった目標やプログラムの設定に基づき個別や集



子ども通園センター

団による療育の実施を行い、個別支援計画の作成、発達確認、関係機関との情報交換や就園、就学相談や家庭、発達相談など、保護者に対しても幅広い支援や相談に対応している。

委員会ではいづれの事業も増加していることを踏まえ、議論の結果、将来のまちづくりの担い手となるべき子どもたちに対し、虐待による犠牲を生じさせないためや、療育により快適な社会生活を送れるよう、子供は地域の宝であることを十分に認識し、地域住民をはじめ、関係機関が共通の認識のもとに子供たちを見守り、育てていくため各種施策の充実に努められるよう求めるものです。